

平成20年度

教育委員会の事務に関する点検評価報告書

(平成19年度対象)

平成21年2月

高梁市教育委員会

目 次

1	はじめに	1 頁
2	教育委員名簿	1 頁
3	教育委員会議の開催状況	1 頁
4	教育委員会での審議状況	1 頁
5	教育委員会に関わるその他の主な活動状況	2 頁
6	教育委員会における事務の点検及び評価	
	(1) 平成19年度基本方針及び教育行政重点目標	3 頁
	(2) 教育行政重点目標の施策体系	4 頁
	(3) 教育行政重点目標の主な事業の点検及び評価の結果	
	1 「生きる力」を育む学校づくり	5 頁
	2 人づくりのための学習環境づくり	8 頁
	3 心豊かな人づくり、活力のあるまちづくりをめざした生涯学習の推進	9 頁
	4 暮らしの中にスポーツを／いつでも、どこでも、気軽に	14 頁
	5 歴史と伝統を生かした地域文化の創造と人を育むまちづくり	17 頁

1 はじめに

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（以下「地教行法」という。）の一部改正により、平成20年4月からすべての教育委員会が、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに、市民へ公表することになりました。

高梁市教育委員会では、地教行法の規定に基づき、今後の効果的な教育行政の推進を図るとともに、市民の皆さまへの説明責任を果たすことを目的として、教育行政の基本方針や重点施策として定めている「教育行政重点目標」をもとに、平成19年度に重点的に取り組んだ事業について点検及び評価を実施し、その結果を報告書としてまとめました。

2 教育委員名簿（平成19年4月1日現在）

職名	氏名	就任年月日	任期満了年月日
委員長	官尾雅彦	平成16年10月1日	平成19年11月15日
職務代理者	長船勝巳	平成16年10月1日	平成20年11月15日
委員	保田貴子	平成16年11月16日	平成21年11月15日
委員	江草正光	平成16年10月1日	平成22年11月15日
委員（教育長）	西井節壽	平成16年11月16日	平成20年11月15日

3 教育委員会議の開催状況

教育委員会議については、原則として毎月1回定例会を開催し、また必要に応じて臨時会を開催しています。平成19年度は定例会を12回開催しました。

4 教育委員会での審議状況

地教行法第26条及び高梁市教育委員会事務委任規則の規定に基づき、平成19年度は合計48件について審議しました。

- (1) 教育行政に関する基本的な方針・・・・・・・・・・・・・・・・・・2件
- (2) 教育委員会規則等の制定又は改廃・・・・・・・・・・・・・・・・・・19件
- (3) 教育予算その他議会の議決を要する議案に関する事・・・・・・・・2件
- (4) 職員（教職員を含む）の人事に関する事・・・・・・・・・・2件
- (5) 法令又は条例等に定めのある付属機関の委員の委嘱・・・・・・・・12件
- (6) 教科書の採択に関する事・・・・・・・・・・・・・・・・・・4件
- (7) 通学区域の設定又は変更に関する事・・・・・・・・・・4件
- (8) 表彰に関する事・・・・・・・・・・・・・・・・・・1件
- (9) その他・・・・・・・・・・・・・・・・・・2件

5 教育委員会に関わるその他の主な活動状況

年 月	教育委員が出席した活動等
平成19年4月	・幼稚園入園式、小・中学校、市立高校入学式
5月	・学校訪問（幼稚園6園、小学校11校、中学校3校、市立高校1校訪問）
6月	・学校訪問（幼稚園7園、小学校10校、中学校4校、市立高校1校訪問） ・成羽中学校校舎改築現場視察 ・市議会6月定例会
7月	・岡山市町村教育委員会連絡協議会総会 ・学生研修団との懇談会
8月	
9月	・幼稚園、小・中学校、市立高校運動会 ・吹屋周年記念イベント ・市議会9月定例会
10月	
11月	・第19回全国生涯学習フェスティバル ・教育委員会表彰 ・岡山市町村教育委員会連絡協議会
12月	・市議会12月定例会
平成20年1月	・成人式 ・成羽中学校校舎改築落成記念式典
2月	・平成19年度教育問題懇談会
3月	・幼稚園、小・中学校、市立高校卒業式 ・市議会3月定例会

6 教育委員会における事務の点検及び評価

(1) 平成19年度基本方針及び教育行政重点目標

社会環境が大きく変化する中で、学校教育をはじめとして、生涯学習やスポーツ、文化芸術活動はますます重要なものとなり、その果たす役割に大きな期待が寄せられています。

特に、本市においては、教育関係の全ての分野において、こうした変化に適切に対応し、生涯にわたり心豊かに、たくましく生きていく意欲と、実践力を備えた、新時代を担う人間の育成が最も重要となっています。

高梁市総合計画では、「交流・創造都市 たかはし」を将来の都市像とし、その実現のため「文化を育み健やかで活力のあるまちづくり」を基本理念として諸施策を推進しています。この基本理念に基づき、高梁市教育委員会は19年度において、学校教育、家庭や地域社会の教育、スポーツや、それぞれの地域の特色ある文化芸術活動の活性化など、生涯学習社会の実現に取り組むため、「新しい文化の創造と人を育むまちづくり」を基本方針として、次の5項目を重点目標に、総合的な取り組みをします。

- 1 「生きる力」を育む学校づくり
- 2 人づくりのための学習環境づくり
- 3 心豊かな人づくり、活力のあるまちづくりをめざした生涯学習の推進
- 4 暮らしの中にスポーツを／いつでも、どこでも、気軽に
- 5 歴史と伝統を生かした地域文化の創造と人を育むまちづくり

子どもたちが、自ら学び、自ら考える力や、心豊かな人間性育成など「確かな学力」や「生きる力」を育む学校づくりを、子ども一人ひとりを大切に、基礎・基本の確実な定着を図りながら進め、青少年の健全育成に取り組めます。

生涯にわたって主体的に学習できる生涯学習社会の形成を目指し体系的・効果的な支援と推進を図ります。特に、本年は「第19回全国生涯学習フェスティバル」が岡山県開催となるため、誰でも気軽に参加、交流ができる事業により市民の生涯学習への関心を高めます。

さらに、備中松山城や吹屋伝建地域など、地域固有の歴史遺産や伝統文化の保護・保存とその活用を進めると共に、公民館活動の積極的な展開により地域の文化芸術、スポーツ振興を進めます。

今年度は、通学区域の見直しや学校給食のセンター化を図り、新高梁市立高等学校の開設準備に取り組み、公教育の充実のため、教育環境と教育効果の向上を目指します。そして、スポーツ振興計画を策定し、スポーツ施設の充実に向けサッカー場等の整備計画に着手します。

これらの諸施策の推進に当たっては、関係機関や地域などとの連携を一層緊密にし、ひろく市民の参画と理解、協力を得ながら、積極的に進めます。

(2) 教育行政重点目標の施策体系

基本理念	基本方針	重点目標	施策
文化を育み健やかで活力のあるまちづくり	新しい文化の創造と人を育むまちづくり	1 「生きる力」を育む学校づくり(「確かな学力向上」と「豊かな心の育成」)	教育内容・方法の充実(確かな学力向上)
			生徒指導の充実(心の教育の推進)
		2 人づくりのための学習環境づくり(学習環境の整備)	学校(園)施設・設備の整備
		3 心豊かな人づくり、活力あるまちづくりをめざした生涯学習の推進(生涯学習の推進)	生涯学習の振興
			家庭・地域社会の教育力の充実と連携
			社会教育団体の育成
			人権教育・啓発の推進
		4 暮らしの中にスポーツを／いつでも、どこでも、気軽に(スポーツ活動の振興)	市民のスポーツ・レクリエーションの推進と健康づくり
			スポーツ施設の整備
		5 歴史と伝統を生かした地域文化の創造と人を育むまちづくり(地域文化の振興)	芸術文化活動の普及と振興
			文化財の保護・保存
			文化施設の充実

(3) 教育行政重点目標の主な事業の点検及び評価の結果

《重点目標》1 「生きる力」を育む学校づくり

(「確かな学力向上」と「豊かな心の育成」)

〈施策〉教育内容・方法の充実(確かな学力向上)

事業名	事業内容・実績等	成果・課題等
教育内容の充実・指導方法の改善 【学校教育課】	学力向上と教育課程の工夫のため、市内小学校5校を学力向上拠点形成事業(算数科)、へき地教育研究会(中井小)、「授業で勝負」(富家小・高梁北中)を実施し授業研修や研究授業を行い、基礎基本の定着・自ら学ぶ力を培う研究を深めた。また、幼から小への連携をスムーズにするために、市内3小学校で支援員を配置し、小1グッドスタート事業を実施した。	研究計画に基づき、ほぼ予定通りの取組ができ、授業改善、個に応じた指導の研究を深めることができた。 また、各校の抱える問題・課題等が整理でき、指定校がめざす児童像実現のための指導方法の検証ができた。 小1グッドスタート事業は、導入した学校において成果をあげており、継続して実施したい。
幼稚園教育の充実 【学校教育課】	幼稚園教育課程研究園として高梁南幼稚園において、地域を生かした体験をテーマに研究を進めた。また、幼稚園教育の校内研修の支援として年間1回以上の指導訪問を実施した。	就学前教育の充実は、小学校以降の教育の基盤づくりとして重要である。幼稚園教育における教育内容、指導方法等の改善を通じて、「生きる力」の基礎となる幼児教育の充実を一層図っていく必要がある。
特別支援教育の推進 【学校教育課】	臨床心理士の学校派遣・特別支援教育コーディネーター研修会を実施した。また、支援員を市内2幼稚園、3小学校に配置し、個別の指導の充実に努めた。	計画に基づき、ほぼ予定通りの取組ができた。配慮を要する園児・児童生徒は増加しており、支援員の配置の要請は多く、配置数を増やしていく必要がある。
保健・安全教育の推進 【学校教育課】	児童生徒の健康の保持増進・安全の確保を図るため、意図的・計画的な活動を実施するよう学校を指導するとともに、関係機関との連携を図った。	スクールガードリーダーの学校訪問や指導を継続し、保健・安全教育の計画的な推進を図らなくてはならない。
食に関する指導の充実 【学校教育課】	子どもの健全な食生活の実現と豊かな人間形成を図るため、学校における食に関する指導のあり方について研究を進めた。(研究指定校:成羽中学校)	研究校での取り組みの成果を市内全体へ広め、引き続き学校の教育活動全体で食に関する指導の充実に努めることが必要である。

<p>備中地域の自校給食のセンター化に向けての取り組み【学校教育課】</p>	<p>学校給食を自校方式からセンター方式へ移行するため備中地域の4小学校、1中学校の給食棟プラットフォーム新設工事や備品整理、また、試食会の実施、給食アンケートの実施及び冬季搬送の試走などに取り組んだ。</p>	<p>給食センターから配送することにより行政コストの効率化と施設整備の合理化が図れ、平成20年4月からの移行に備え予定通りの取り組みができた。</p>
<p>地域に開かれた学校づくりの推進【学校教育課】</p>	<p>地域の人材を生かし、特色ある学校づくりを小中学校で進めると共に、9幼稚園に広げることができた。</p> <p>学校評価の実施と学校運営の改善を図るために、校長面接等で意識改革を図った。</p>	<p>各校園が体験活動、地域の方との交流を充実させるために、特色ある学校づくりの事業は効果があり、今後も継続させたい。やや計画性に欠ける面も見られるので、年間実施計画・予算等の精度を高める必要がある。</p>
<p>時代の進展に対応した教育の推進【学校教育課】</p>	<p>情報教育(パソコン活用)研究校として、川上小学校において研究を深め、授業公開を実施し、市内に研究の成果を広めた。</p> <p>市内幼小中学校へのALT(外国語指導助手)派遣事業を継続し、国際理解教育の推進を図った。</p> <p>地域の実態に応じた環境教育・福祉教育実践・農業教育高度支援促進事業として西山小学校において計画的に実施した。</p> <p>学校における読書活動の推進として、図書館司書を小・中学校に6名配置した。</p>	<p>情報教育(パソコン活用)は成果を広め、次期研究校へ成果を引き継ぐことができた。</p> <p>ALT(外国語指導助手)派遣事業は各校で効果を上げており、来年度も継続する。</p> <p>西山小学校は2年次の実践にはいる。</p> <p>図書館司書の配置については、その効果から拡充に向けて取り組む必要がある。</p>
<p>人権教育の推進【学校教育課】</p>	<p>幼児・児童・生徒が発達段階に即し、人権尊重の理念が正しく身に付くよう、推進体制の確立と指導内容の充実を図った。</p> <p>併せて教職員研修の機会をもち、教職員の資質・能力の向上を図った。</p>	<p>高梁市学校教育研修所主催の研修会を2回実施した。そのことにより、人間関係づくり及び自立を支援する教育を中心とする考え方の浸透を図ることができた。</p>
<p>市立高等学校の統合に向けての取り組み【学校教育課】</p>	<p>教育委員会の新高梁市立高等学校開設方針にそって、推進のための協力者会議を4回、キャンパス会議を6回開催し、具体的なスケジュールや教育内容について検討した。</p>	<p>開設までの具体的なスケジュールや検討事項が明確となり、キャンパス構想や新校の教育内容について具体化が図れた。</p>
<p>通学区域の見直しに向けての取り組み【学校教育課】</p>	<p>高梁市立小・中学校通学区域見直し検討委員会からの答申に基づき、規則の改正を行った。</p>	<p>地理的要因に配慮を要する地区については、届出により変更ができるように改善が図られた。</p>

〈施 策〉 生徒指導の充実（心の教育の推進）

事業名	事業内容・実績等	成果・課題等
学校・家庭・地域社会等との連携による生徒指導の推進【学校教育課】	いじめ・不登校等生徒指導上の諸問題への対応の充実を図るため、事業の充実・発展を図った。 ・問題を抱える子ども等の自立支援事業 ・学校ふれあい促進事業(臨床心理士による研修相談事業) ・スクールカウンセラー派遣事業 ・スクールサポーター配置事業	不登校対策については、一定の成果をおさめている。いじめ問題については、インターネット上の書き込み等、新しい問題が発生している。 いじめ・不登校を新たに生まない積極的な生徒指導と併せて、新たな課題に対応するための教職員研修の場の設定が必要である。
心を育てる体験活動等の充実【学校教育課】	職場体験活動(チャレンジワーク 14)を市内各中学校で実施した。	この活動を通して、生徒は社会のマナーやルールを学び、職業観・勤労観を高めることができた。中学生の希望をかなえるための各種の事業所の新規開拓などの協力要請が課題である。

重点目標に対する総合評価

本市の子どもは、全国学力・学習状況調査の結果から見ても、学力的には全国平均と大差がなく、また挨拶はよくでき、規範意識・自尊感情も高いなどのプラス面が表れており、事業の成果があがっている。しかし、無解答率が高かったり、基本的な問題において正答率が低かったりするという課題があり、結果の検証が必要である。

また、生徒指導の充実に関しては、不登校の児童生徒の問題に加えて、携帯電話、インターネットによるいじめなど新たな課題も生じている。対症療法に流されることなく、児童・生徒の自己指導能力を育成するという生徒指導の原点に立ちかえり、積極的な生徒指導の推進に継続して取り組む必要がある。

《重点目標》2 人づくりのための学習環境づくり（学習環境の整備）

〈施 策〉学校（園）施設・設備の整備

事業名	事業内容・実績等	成果・課題等
学校施設の整備事業 【教育総務課】	老朽化と耐震性に不安のあった成羽中学校校舎の改築工事を18・19年度2ヵ年で実施した。鉄筋コンクリート3階建、建築面積3,084㎡。併せて30kw相当の太陽光発電設備の設置を行い、予定どおり工事を完了した。	耐震化により児童生徒の安全確保が図れた。併せて省エネや地球温暖化問題への理解の促進を図れた。太陽光発電は他の公共施設への導入を推進する必要がある。
	校内LANが未整備であった4小学校、1中学校の配線工事を実施し、予定通り工事が完了した。	情報通信ネットワークの活用により、学校教育の情報化の推進が図れた。
	新たに市内2小学校1中学校3幼稚園の警備保障業務を委託した。	防犯と火災警報に連動しており、校内の安全対策が図れた。
	小学校施設改修事業 施設の改修、修繕を行った。 ①落合小学校 児童トイレ改修工事 ②川面小学校 校舎屋根改修工事 ③松原小学校 プール修繕工事 ④有漢西小学校 教室照明改修工事	児童の安全確保と教育環境の改善が図れた。
	中学校施設改修事業 施設の改修、修繕を行った。 ①川上中学校 防球ネット設置工事 ②高梁北中学校 校舎雨漏修繕工事 ③高梁東中学校 屋体ネット修繕工事	生徒の安全確保と教育環境の改善が図れた。
	幼稚園施設改修工事 施設の改修、修繕を行った。 ①高梁幼稚園 樋修繕工事 ②川面幼稚園 インターホン設置工事 ③落合幼稚園 鍵取替工事	園児の安全確保と教育環境の改善が図れた。
学校設備の整備事業 【教育総務課】	4小学校に新JIS規格の生徒用机、いす(227セット)を購入し、学習環境の整備を行った。年次的に更新をしており、今回で小学校全校を完了した。	学校教育における学習環境の充実が図れた。

重点目標に対する総合評価

今日の教育事情に積極的に対応でき、機能的で特色を持った学校・園の整備充実を図ることを基本として、緊急性、必要性を見極めながら事業効果等も勘案して整備充実に努めた。また、老朽化と耐震性に不安を抱いていた成羽中学校校舎改築工事が2ヵ年をかけ無事完成した。今後も耐震補強や大規模改造工事を計画的に実施して安心・安全な学校施設の整備を推進していく。耐震診断については、実施できなかったが、次年度以降積極的に実施していく。児童・生徒の机、椅子の整備については今年度で小学校が完了した。今後、中学校を実施し、学習環境の充実を図っていく。

《重点目標》3 心豊かな人づくり、活力あるまちづくりをめざした生涯学習の推進 (生涯学習の推進)

〈施 策〉生涯学習の振興

事業名	事業内容・実績等	成果・課題等
社会教育委員会議 【社会教育課】	年間に取り組む社会教育事業の展開に向けその方針・施策を示し、委員から意見を聴取し、事業を実施した。	各委員から事務事業に対し質疑応答の中、提言・意見をいただき事業に生かした。
公民館活動の推進 【社会教育課】	市内の各公民館に館長を配し、運営審議委員会を設置して、事業の計画、運営を行った。また館長の資質向上を図るため研修を行った。	各公民館において、それぞれ特色ある講座を開設し、研修活動等が活発に実施できた。高齢化等により会員が減少していることが課題である。
第19回全国生涯学習フェスティバルの開催 【社会教育課】	11月2日から5日間にわたり総合文化会館をはじめ市内各地域で7つのイベントを開催した。	これまで取り組んできた生涯学習の成果(公民館活動、子育て関係など)を生かした事業が実施できた。
「学びあい、支えあい」地域活性化推進事業 【社会教育課】	国委託事業として、落合地域で、地域の歴史学習(4回)や清掃活動(3回)等を実施した。また、専門家や地域住民により、地域の環境史跡マップを作成し、地域内全戸に配布した。	学習会や美化活動を通じて地域の連帯感が生まれ、自分たちの地域の自然や資産を守り、それを生かしたまちづくりを進めていこうとする意識が芽生えた。
高梁市魅力再発見事業 【社会教育課】	市内から応募のあった小学3・4年生約40人が夏休みに2日間かけて市内で体験学習をした。	児童がこれまで知らなかった高梁市の史跡や工芸の体験場所など高梁のよさを発見することができた。
成人式運営事業 【社会教育課】	成人の日の前日の半日行事として開催した。市外の方も参加希望があれば受け入れ計333人の参加があり、式典に続いて、記念行事を実施した。	記念行事は、この年度成人となる方が実行委員として自ら進め、成人者にとって記念となる行事が実施できた。

生涯学習まちづくり「出前講座」の実施 【社会教育課】	市民の自主的な生涯学習活動を支援するため、市職員が講師となり出向いて話をするもの。講座内容 45 項目中からの選択制で、2 団体、2 項目の講座依頼があった。	自主的に講座を行なうことで、学習意欲を高めることができた。講座内容の検討・充実を行なうことや、対象地域の拡大も検討していく必要がある。
童謡まつりイン高梁 【教育委員会高梁分室】	童謡のよさを市民をはじめ多くの方に広めるため、市内の合唱団を中心とした童謡の発表会を開催した。市内からは 23 団体が参加し、県外からの招待合唱団 1 団体が参加した。	当日は延べ 600 人の参加があり、童謡によるまちづくりを広く周知することができた。今後は、市内全地域にある合唱団の参加により開催できるようにしていく必要がある
高梁市歴史文化講座 【教育委員会高梁分室】	高梁市の歴史や文化について市民をはじめ多くの方に学んでいただくことを目的に講師を招いての講座を開催した。講座を 4 回開催するとともに、第 19 回全国生涯学習フェスティバル開催 1 ヶ月前イベントとして特別講座を 1 回開催した。	4 回の講座には各回で 40 人程度の参加があり、目的を達することができた。今後も講座内容を検討のうえ引き続き開催していく必要がある。
高梁市うかん生涯学習推進大会 【教育委員会高梁分室】	市民の生涯学習活動を支援するために、生涯学習推進大会を開催した。 実践発表として、有漢公民館で取り組んでいる「うかん伝統文化こども教室」の成果として、子ども備中神楽及び子ども銭太鼓を発表したほか、オスマン・サンコンさんを招き、記念講演を行い、約 280 名の方の参加があった。	うかん文化祭との連携により、地域の生涯学習活動を支援することができた。また、大会スタッフが少ないことや、事業効果、費用対効果を高めるため、今後は市内の近隣地域を巻き込んだ大会運営が必要である。
成羽生涯学習センター（仮称）構想の具体化 【社会教育課】	市立高校の再編調整会議に 4 回出席。教室利用を検討した。	高校との利用施設の調整と施設の老朽化が課題である。

〈施策〉家庭・地域社会の教育力の充実と連携

事業名	事業内容・実績等	成果・課題等
放課後子供プラン（国補助）について調査研究 【社会教育課】	国庫補助事業として、市内 3 地域で 20 年度からモデル的に放課後子供教室を実施するため検討を行った。	コーディネーター、学習アドバイザー、安全管理員の確保と連携。
家庭教育支援総合推進事業（国委託） 【社会教育課】	国委託事業として市内の幼稚園、小学校、中学校で PTA を中心に子育てに関する講座や話し合いを行い、家庭・地域の教育力向上に取り組んだ。50 講座を実施した。	各校園において、多くの保護者等が集まる機会を利用して講座等を実施した結果、理解が深められ、家庭の教育力向上が図られた。

<p>子育てふれあいネットワーク事業</p> <p>【社会教育課】</p>	<p>子育てに関する諸問題を検討し、子育てサポーターの養成やボランティアを対象とした研修会など必要な事業を実施した。</p>	<p>研修会や交流会の実施により、子育てに関する関係者のスキルアップやネットワークの構築が図られ地域教育力の向上につながっている。</p>
<p>親子どどん読書事業(県委託)</p> <p>【社会教育課】</p>	<p>有漢地域で読書まつりを開催し、次の事業を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・記念講演会 ・読書ボランティアによるおはなし会 ・リサイクル本のチャリティーバザー ・学校図書館コーナー ・20年以上親しまれている絵本のコーナー 	<p>子供の読書離れが深刻な問題となっている中、読書まつりの実施により、読書活動の推進や情報発信ができた。今後は、生活リズムの中で読書が位置付けられるよう実態調査から着手し、読書の推進にあたっていく必要がある。</p>
<p>食育から広める生活リズム向上推進事業(県委託)</p> <p>【社会教育課】</p>	<p>近年朝食を採らない子供が増加しており、食事を基調とし、規則正しい生活リズムを習慣付けることを目的に、アンケート調査を実施した。</p>	<p>アンケート調査の結果、食事以外にも学年が上がるにつれて生活が夜型に移行しているなど課題も発見された。</p>
<p>家庭・地域教育講演会</p> <p>【社会教育課】</p>	<p>子育てふれあいフェスティバル 2007 事業の一環として「心地よい日本語」と題し、金田一秀穂氏の講演会を実施した。</p>	<p>学校関係者をはじめ多数の聴講があった。講演後アンケートを実施し、それぞれの立場で言葉の大切さが認識できた。</p>
<p>家庭教育学級・乳幼児学級</p> <p>【教育委員会高梁分室】</p>	<p>子どもの年代に応じた家庭教育や子育てに悩む保護者の支援を目的に『子育て講座』を2回開催、延べ98名が参加した。また、就園前児童の保護者が一人で悩むことが無いよう保護者同士の交流を目的に『乳幼児学級』を開催。年11回、21組の親子が参加した。</p>	<p>参加した親子同士の交流や、家庭での子どもとの接し方、遊び方などの学習とおして、保護者の悩みの軽減を行なった。今後も継続的に行なうことにより、一人で悩むことがないように情報・学習機会の提供と保護者同士の交流を行う。</p>
<p>通学合宿事業</p> <p>【教育委員会川上分室】</p> <p>【教育委員会有漢分室】</p>	<p>学校と社会教育機関が連携し、郷土学習と体験活動の充実を目指す事業として川上小学校5年生(29名)を対象に夏休み期間中2泊3日で実施した。主な内容としては、野外活動・ふるさと学習・環境学習など。</p> <p>子どもの生きる力、自主性・自発性を養うことを目的に5泊6日の期間で、有漢東・西小学校児童の内、希望者24名が公共施設に宿泊しながら、学校へ通学した。</p>	<p>様々な体験活動から自らが考え、進んで行動できるようになった。また、郷土の学習や人とのふれあいなど多く事柄を学ぶことができた。今後も必要な取組であるが、実施体制の変化によっては内容の見直しが必要となる。</p> <p>参加児童、参加保護者共に合宿に参加しないと得られない体験ができたこと好評であった。しかし、事業スタッフが少ない為、事業実施者側の負担が大きい。当該事業効果は高く、他地域でも取り組むことが好ましい。</p>

<p>にこにこファミリースクール（親子体験講座）</p> <p>【教育委員会川上分室】</p>	<p>親子のふれあいの場、体験活動の充実を目指し、公民館事業として9日間実施した。主な内容としては、ものづくり・スポーツ活動・調理実習など。</p>	<p>日常生活では体験できないメニューに親子で取り組むことで家庭教育の充実に成果があった。社会情勢の変化に伴う参加者の減少や固定化などの課題があり、内容等の検討が必要である。</p>
---	--	---

〈施 策〉社会教育団体の育成

事業名	事業内容・実績等	成果・課題等
<p>婦人教育推進事業</p> <p>【社会教育課】</p> <p>【教育委員会高梁分室】</p> <p>【教育委員会備中分室】</p>	<p>婦人会組織への活動支援として補助金を交付した。（成羽町婦人協議会、成羽婦人会、布寄ほのぼの会、川上町婦人協議会、川上町カーネーションへ交付。）</p> <p>婦人の教養と地位向上及び地域の活性化に取り組む婦人会協議会に対し、一層の活動と健全な運営のために補助金を交付するとともに、男女共同参画研修会及び婦人大会を開催した。4単位団530名の会員で、婦人大会には88名が参加した。また備北地区婦人大会を成羽町で開催した。</p> <p>備中町婦人ふれあい大会の開催や、研修事業を行い、備中町地域の婦人活動を推進する備中町婦人ふれあい会に対し、その活動を助成した。</p>	<p>婦人会の活動推進が図られた。</p> <p>研修会等において、会員同士の交流を行うとともに、教養を深めた。また、婦人会の地域における役割は大きく、今後も事業をおこなっていく必要がある。</p> <p>家庭生活の充実向上を中心に、家計・衣食住の管理、家族関係や健康問題・環境問題などについて大会等により研修するとともに、会員相互の連携と親睦が図られた。</p>
<p>青少年健全育成事業</p> <p>【社会教育課】</p>	<p>少年団及び青年団への支援として助成金の交付や大会を実施した。（スポーツ少年団33団体、少年団5団体へ助成。）</p>	<p>スポーツ活動、体験活動、清掃奉仕活動等を通じて、青少年の健全育成が図られている。また、地域住民との交流が図られ、地域教育力の向上につながっている。</p>
<p>高齢者学級</p> <p>（いきいき快老教室）</p> <p>【教育委員会川上分室】</p>	<p>住民福祉課と連携し、高齢者のいきがいつくりの講座として要望のある地域へ出向き実施した。19年度は3会場でニュースポーツ講習・体力テスト・よもやま話会を実施した。</p>	<p>恒例行事として位置づけられている地域もあり、一定の成果も見られるが、実施のない地域もあり、PR等を含めた内容の再検討が必要である。</p>

〈施 策〉人権教育・啓発の推進

事業名	事業内容・実績等	成果・課題等
推進体制の確立(啓発のための調査研究) 【社会教育課】	人権啓発推進委員会を年間3回実施し、人権に関わる事業の企画検討、研修会等を実施した。また啓発講演会、リーフレットの作成、視察等の検討を広報啓発専門委員会(年2回)で行った。	「市人権啓発推進指針」に基づき、人権諸事業の具体的方策を示すことができた。また、研修会では、裁判員制度の発足を考慮し、裁判所の視察研修を行い、犯罪に関わる人権について、理解を深めることができた。
指導者の養成 【社会教育課】	子どもや女性、外国人などに関する人権問題の解消と指導者養成のため、人権問題学習講座を年6回開催し、延べ555名が受講した。内4回以上の受講者28名へ修了証書を授与した。	毎回100名前後が受講し、市内各地域からの参加があり、事業として定着し、成果を上げている。
人権教育・啓発に関わる諸事業 【社会教育課】	県補助事業として、市内全校園で、PTA人権教育研修事業、子どものエンパワーメント育成事業や就学前人権教育推進事業などを各校園等で実施した。また、企業人権啓発研修会や啓発ビデオの購入・貸出を行った。	PTA人権研修会は、全校園で年1回実施しており、人権問題に関する認識が深まっている。

重点目標に対する総合評価

平成19年度は、全国生涯学習フェスティバルにかかる事業を実施することにより、市民へ生涯学習の成果の発表と関係者のネットワークの構築が図られ、社会教育全般の振興につながった。また、いじめや不登校、子育てに悩む親など、子どもを取り巻く諸問題に対応して、ライフステージに応じた課題別の子育て講座や父親の家事参加促進事業、食育から広げる生活リズムの向上推進事業などを通じて家庭・地域の教育力の充実が図れた。しかし、更なるPRや工夫により、家庭教育事業への参加者の拡大に努めることが課題である。

人権教育啓発事業では、「高梁市人権教育啓発推進指針」に基づき、人権教育推進委員会を核として諸事業の具体的方策を示すことができた。また、指導者養成事業や市内の全校園で取り組んでいるPTA人権研修会については、地道な取り組みが必要であり、今後も継続的に実施していくことが重要であると考えます。

《重点目標》4 暮らしのなかにスポーツをいつでも、どこでも、気軽に
(スポーツ活動の振興)

〈施策〉市民のスポーツ・レクリエーションの推進と健康づくり

事業名	事業内容・実績等	成果・課題等
「高梁市スポーツ振興計画」の策定 【スポーツ振興課】	高梁市スポーツ振興計画策定に向け、市民及び小学生(4年生以上)・中学生を対象にアンケート調査を行い、スポーツの現状と課題を抽出した。スポーツ振興審議会において協議検討を重ね、答申を踏まえ今後のスポーツ行政の柱となる振興計画の策定を行った。	本市のスポーツ行政の指針となる振興計画を策定し、計画書を関係各所へ配布した。今後は、このスポーツ振興計画に基づいた施策を展開し、市民のスポーツ振興を図って行く。
競技スポーツの開催 【スポーツ振興課】	高梁市体育協会への委託事業を通して各種競技スポーツ大会を年間 45 大会開催した。参加者数は延べ 5,000 人にのぼる。 各町体育協会においても、多くの競技大会が開催され多くの参加者を得ることができた。	高梁市体育協会への委託で行う「各種競技スポーツ大会」には、多くの参加者が集い、競技力の向上と親睦を兼ねて成果が上がっていると考えられる。課題としては、それぞれの大会の自主的・自立的な運営にむけて、ますます努力していくことが求められる。
スポーツ教室の開催 【スポーツ振興課】	生涯スポーツ推進事業の中で全国レベルの選手を招聘して行う各種「講習会」と、市民スポーツ団体に指導をお願いする各種「教室」を行った。 ○講習会 ・「ソフトボール講習会」(50名) 平林金属ソフトボールチーム ・「少年野球教室」(130名) 広島東洋カープの岡コーチ ・「ソフトテニス講習会」(30名) 吉備国際大学ソフトテニス部 ○教室 ・中高年ニュースポーツ教室 (4婦人会 136名) ・硬式テニスなど8種目にわたる「スポーツ教室」(240名) ・健康増進施設を使用した「ファミリー水泳教室」(60名)	各種スポーツ「講習会」、「教室」においては、参加した市民の競技力向上、技術の習得に役立ったという点が一番の成果である。有名な選手の指導を受けたり、基本的な技術を教えてもらったりすることは、その競技をよりよく理解することや、スポーツを好きになる動機付けにもつながっている。課題としては、参加する側と、指導する側の日程調整が難しい点が上げられる。 各種スポーツ「教室」の課題としては、参加者が固定化してくる傾向があり、新規参加者が少ないという点が挙げられ、広報活動をしっかりとって参加者の掘り起こしをする必要がある。

<p>スポーツ・レクリエーションの推進と健康づくり</p> <p>【スポーツ振興課】</p>	<p>○生涯スポーツを担う高梁市体育指導委員を育成するために、中国体指・全国体指など各種研修会・研究会に参加した。</p> <p>○各地域でのスポーツ大会を開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・愛らぶ高梁ふれあいマラソン大会(968名) ・なりわ健康マラソン(322名) ・高梁市ニュースポーツ大会(60名) ・有漢町球技大会(300名) ・成羽町スポーツ大会(407名) ・町民グラウンドゴルフ大会(288名) ・備中町の綱引き長縄大会(121名) <p>○健康づくりを目的に</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学生を対象にした高梁市小学生ドッジボール大会(248名) ・公民館対抗親睦ソフトボール大会(272名) <p>合併以来、高梁市全域の各小学校、各公民館を対象に行っている。</p> <p>○国が進めている総合型地域スポーツクラブの設立に向け、準備委員会の会議を重ね、年度末には「たかはしコミュニティスポーツクラブ《ピオーネ》」を設立。</p>	<p>地域の体育振興に体育指導員が大きく寄与しているが、研修会・研究会、全体での体育行事への参加者が固定している。今後は体育指導委員の人員等を含め、そのあり方について検討が必要である。</p> <p>たかはしコミュニティスポーツクラブ《ピオーネ》が設立されたが、課題も多く、今後「ピオーネ」が自主運営できるように助言や支援を継続して行く必要がある。</p>
<p>特色ある地域スポーツ種目の育成</p> <p>【スポーツ振興課】</p>	<p>全市での統一したスポーツの開催を目指し、歩け歩け大会(180名)を行った。</p> <p>また、各種スポーツ教室を市全域への参加募集を行った。</p>	<p>歩け歩け大会では、「高梁徒歩の会」の協力の下、多くの市民が参加し、高梁市を知るよい機会となっているので、輪番で各町を回りながら継続していきたい。</p> <p>各種スポーツ教室の市全域への参加募集により、より広範囲から参加者が集まるようになった。</p>
<p>スポーツ団体等の支援</p> <p>【スポーツ振興課】</p>	<p>地域のスポーツ振興の中心となる各市町体育協会へ財政的援助を、また種目団体へ大会開催支援を行った。</p>	<p>年間を通じて多くの大会行事が開催され多くの競技者が参加した。各競技種目団体によって、自主運営能力に差があるのが現状であり、今後は種目団体が自主的・自立的に準備・運営できるように支援していく必要がある。</p>

<p>大学等との連携 【スポーツ振興課】</p>	<p>吉備国際大学との連携事業として、後期試験の終了時(2月中旬)にあわせ、「ジュニアスポーツスクール」を6教室(130名)行った。バスケットボール、車椅子バスケットボール、アーチェリー、柔道、剣道、サッカーの各種目に総計153名の参加があり、車椅子バスケット、アーチェリーなど子どもたちが普段ほとんど触れることのない種目もあり、大学生とともに気持ちのよい汗を流すことができた。</p>	<p>参加した多くの子どもたちが大学生から各種目の基本的なこと習った。 大学の試験終了をねらって行う活動のため、どうしても真夏、真冬の活動になるのが今後の課題である。 大学の有能な選手とふれあう機会を提供するという事業は高梁市ならではの事業であるため今後も継続発展させていきたい。</p>
<p>体育協会の一本化 【スポーツ振興課】</p>	<p>度重なる事務局協議を経て、平成19年度末に高梁市体育協会として、組織の統合を行った。</p>	<p>高梁市体育協会の中に各競技部と並列で各町旧体育協会が普及推進部という形で残り、それぞれ地域の体育活動を行うようにした。今後、体育協会合併協定項目の調整協議を行い実質的な一本化を図る必要がある。</p>

〈施策〉スポーツ施設の整備

事業名	事業内容・実績等	成果・課題等
<p>神原スポーツ公園多目的広場整備(サッカー場) 【スポーツ振興課】</p>	<p>スポーツ・レクリエーションの拠点施設としての充実を図り、スポーツ交流の推進を図るため、吉備ハイランド・オアシス(仮称)用地に吉備国際大学や市民から強い要望のある多目的グラウンド建設に伴う実施設計を行った。</p>	<p>よりよい多目的グラウンドの整備を行うため、吉備国際大学などのサッカー関係者はもとより、広く市民の皆様にご利用してもらうため、ニュースポーツ関係者などの要望を聞く機会を設け、実施設計に反映させることができた。</p>
<p>有漢農村公園整備事業 【スポーツ振興課】</p>	<p>有漢グラウンドゴルフ場(3コース)は、平成16年7月全日本公認コースとして認定され、以来交通の利便性もあり、県内外から多数の利用者が訪れ、使用されているが、休憩所もなく非常に不便をきたしている状態であったため、クラブハウスの建設を中心とした施設整備を行い利便性の向上を図った。</p>	<p>施設完成後は、昼食時や休憩時などの利便性が向上し、また天候に左右されることが少なくなったことから利用者が増えた。</p>
<p>市内各地域のスポーツ施設の管理 【スポーツ振興課】</p>	<p>市民が安全に利用できる施設にするため、また利便性の向上を図るための維持・管理・整備に務めた。</p>	<p>効率的な管理に務める。</p>

重点目標に対する総合評価

高梁市のスポーツ振興の指針となる「高梁市スポーツ振興計画」を策定し、また、生涯スポーツ社会実現に向けた総合型地域スポーツクラブの「たかはしコミュニティスポーツクラブ《ピオーネ》」が設立された。併せて体育協会の合併も進み、各事業とも成果を挙げているが、今後これら組織の充実強化を図っていくことが必要である。

《重点目標》 5 歴史と伝統を生かした地域文化の創造と人を育むまちづくり (地域文化の振興)

〈施 策〉 芸術文化活動の普及と振興

事業名	事業内容・実績等	成果・課題等
優秀芸術鑑賞 【文化センター】	高梁総合文化会館において、中央の優秀芸術を招致し、市民に質の高い舞台芸術に触れる機会や出会いと感動、また心の豊かさを実感できるステージを提供する自主文化事業を次のとおり実施した。 <ul style="list-style-type: none"> ・津軽三味線「吉田兄弟」公演(7/21)、入場者数 970 名 ・松竹大歌舞伎公演・昼、夜 2 回公演(9/10)、入場者数 1,059 名 ・小椋佳「花壇の会」コンサート公演(10/13)、入場者数 968 名 ・伊勢正三・太田裕美・大野真澄アコースティックナイト in 高梁公演(11/10)、入場者数 605 名 ・劇団四季「魔法を捨てたマジョリン」ミュージカル公演(1/30)、入場者数 413 名 ・アンダルシア「情熱の瞬間」フラメンコ公演(2/16)、入場者数 210 名 ・爆笑お笑いライブ in 高梁公演(3/15)、入場者数 291 名 ・なつかしの優秀映画を楽しむ会(2/9・10)、入場者数 103 名 	心の豊かさが求められている時代に、文化芸術活動を発信する拠点施設として中央の優秀芸術の招致、魅力ある文化芸術事業の推進に取り組み、誰もが音楽や演劇等を気軽に、身近に鑑賞できる機会をつくることができた。またチケット販売等の事業収入拡大へ、より一層の努力が必要である。
地域の創作活動の推進 【文化センター】	市民参加型の自主事業として、市民に文化芸術活動の発表の場を提供し、次の事業を実施した。 <ul style="list-style-type: none"> ・第 19 回三曲演奏会(6/17)、入場者数 450 名 	市民や文化団体の主体的な芸術文化活動を支援、育成し、文化芸術活動の発表の場を設け、文化活動に参加する市民同士が交流し、活動を刺激するような創造と出会いの場を提供することにより、地域からの

	<ul style="list-style-type: none"> ・第18回高梁コーラスフェスティバル(11/25)、入場者数 650 名 ・第6回高梁市文化講演会(2/3)、入場者数 730 名 	文化芸術活動の推進や交流を促進した。
高梁市文化交流館の事業 【文化センター】	<p>高梁市文化交流館において、地域の若者の音楽活動の発表の場、交流の場を提供し、次の事業を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サウンドフェスティバル 2007-in たかはし(11/24)、入場者数 113 名 	地域の若者に音楽活動発表の場を提供することにより、参加者自ら舞台づくりに参加し、自らの手で舞台を企画・運営・出演する機会を与え、若者の交流の機会・創作活動の場を提供することができた。
高梁市歴史美術館（企画展・特別展の開催） 【文化センター】	<p>高梁市歴史美術館において、高梁の歴史や文化を題材にした企画展・特別展を次のとおり開催した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企画展「没後 130 年記念 山田方谷の世界」(4/7～6/24)、入場者数 1,370 名 ・企画展「景年書作展」(7/14～8/19)、入場者数 143 名 ・歴史美術館収蔵品展「高梁ゆかりの画家」と「備中の刀剣-赤羽刀を中心に-」(8/25～9/24)、入場者数 188 名 ・特別展「第 58 回岡山県美術展覧会」(10/4～8)、入場者数 622 名 ・特別展「新島襄と高梁の近代」(10/20～11/25)、入場者数 634 名 ・企画展「アートの今・岡山 2007」(12/1～24)、入場者数 259 名 ・企画展「清水比庵八十展」(1/12～3/23)、入場者数 925 名 	高梁市は歴史的人物や文化人のゆかりの地であり、豊かな歴史や文化を育んできた。こうした高梁で育まれてきた歴史、文化を体系的に県内外に広く紹介するため、高梁市ゆかりの人物や歴史を題材にした特別展・企画展を開催した。また、高梁市のいろいろな分野の美術品の鑑賞の機会を広く紹介した展覧会を開催し、高梁市独自の文化・歴史を県内外に紹介することができた。
成羽美術館（企画展・特別展の開催） 【社会教育課】	<p>児島虎次郎作品の常設展示のほかに、春の企画展「やなせたかしの世界展」、夏の企画展「近藤高弘展—変容の刻—」、特別展「没後 30 年 熊谷守一展」、第 5 回成羽音楽祭等の多彩な企画を開催した。また、市内の小中学生による児島虎次郎を偲ぶ絵画展を行った。(年間入館者数 26,191 人)</p>	展示事業のほかに、グループ活動作品展やワークショップ等の地域に密着した美術教育普及事業を展開しており、市内外から親しまれ、信頼される美術館となっている。一方、平成 6 年の新築開館から 13 年が経過しており、建物設備の大規模な修繕が必要な時期にきている。

<p>吉備川上ふれあい漫画美術館の事業</p> <p>【吉備川上ふれあい漫画美術館】</p>	<p>「夏休み！ワクワク手作り体験教室」を夏休み期間の土日に12日開催し431人参加者があった。</p> <p>「第17回吉備川上漫画グランプリ」を「踊る」というテーマで募集し全国から794点の作品が集まった。</p> <p>「第17回吉備川上漫画グランプリ優秀作品展」を10/27～11/29に実施した。</p> <p>「漫・賀・年賀状コンテスト2008」を「子(ねずみ)」というテーマで募集し全国から795点の作品が集まった。</p> <p>「漫・賀・年賀状コンテスト2008作品展」を1/19～2/17に実施した。</p> <p>「南一平原画展～郷愁・ふるさと彩々～」作品展展示会を3/8～23に実施した。</p>	<p>漫画の持つ奇想天外な発想、そこから生まれる「夢とロマン」あふれるまちづくりを実施するため体験教室・漫画グランプリ・年賀状コンテスト及び各展示会を実施し、漫画美術館への集客及び高梁市のPRとして一定の効果があったが、ピーク時に比べ入館者数は減少しているため、PR方法や事業内容等の検討が必要である。</p>
<p>伝統文化の伝承等</p> <p>【社会教育課】</p>	<p>国橋まつり大神楽大会を開催するとともに、備中神楽や渡り拍子等の伝承活動への支援を行った。また、綱島梁川の没後100年記念事業を実施した。</p>	<p>伝統文化のみでなく、各地域文化協会の活動支援も行っている。今後とも、地域に根付いた文化活動とともに、新たな文化の創造活動を促すためにも、支援を継続していく必要がある。</p>
<p>文学活動の推進</p> <p>【社会教育課】</p>	<p>小説随筆等、詩、短歌、俳句、川柳、童謡作詞の6部門で高梁市文学選奨を実施するとともに、隔年で全国に募集している清水比庵大賞(短歌)を実施した。</p>	<p>高梁市文学選奨は、市民の文学創作活動の発表の場として定着しつつあり、それぞれの部門とも裾野の広がりが見られる。</p>

〈施 策〉文化財の保護・保存

事業名	事業内容・実績等	成果・課題等
<p>文化財等の保存整備</p> <p>【社会教育課】</p>	<p>史跡備中松山城跡整備事業として下太鼓の丸跡の保存整備、吹屋伝統的建造物群保存地区家屋保存事業として旧片山家住宅ほか伝建家屋の保存修理、天然記念物管理事業として臥牛山のサル生息地の保護管理、歴史的町並み保存地区整備事業等を実施した。</p>	<p>指定文化財の保護保存は、今後も行政主導で永年的に継続していく必要があり、その執行体制の強化が急がれる。また、サルの専門家や有害鳥獣担当課と連携し、猿害防止対策に努める必要がある。</p>

<p>文化財の調査・活用 【社会教育課】</p>	<p>市町合併後、未整理であった市指定文化財の調査検討を進めた。また、吹屋伝統的建造物群保存地区選定 30 周年及び旧片山家住宅重要文化財指定記念行事を、吹屋銅山開山及びベンガラ生産周年行事とともに開催した。</p>	<p>すべての市指定文化財の整理には時間を要するが、平成 20 年度中には一定の方針を出すように、作業を進めている。</p>
------------------------------	--	--

〈施 策〉文化施設の充実

事業名	事業内容・実績等	成果・課題等
<p>市民の文化教養・生涯学習の拠点施設の充実 【高梁中央図書館】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・平成 17 年度から新図書館建設計画に係る委員会を設立して、平成 18 年 12 月「新高梁中央図書館建設基本構想」を報告、平成 19 年 9 月市議会全員協議会に議案として提出、複合建設として相手の建物等市全体の事業として研究協議中である。 ・図書館所蔵の歴史的資料で故吉野善介氏(明治 10～昭和 39、本町出身)が主に備中地区を中心に収集された植物標本資料約 1 千点を整備、保存し、利用者に広く公開、研究活動に資するためその基礎資料としてデジタル化した。(CD-R 8 枚組 2 セット) 	<p>拠点施設の充実を図るため新図書館の建築について今後、市のどのような施設と複合化するのか早急に結論を出し建築推進を図る必要がある。</p> <p>歴史的資料をデジタル化した基礎資料の保存と公開できる資料にする必要がある。また、資料の現物標本を保存する方法等の研究を早急にする必要がある。</p>

重点目標に対する総合評価

<p>高梁の自然や歴史、風土に深く関わってきた文化を大切にしながら、生涯を通じて文化に親しむ環境づくりを進めるとともに、個性のある文化の創造を目指し、地域文化の振興を図る必要がある。そのために、市民の文化芸術活動の振興と郷土の伝統文化の保存伝承、また、貴重な文化財を保護保存していくとともに、これらを活用したまちづくりを今後とも推進していく。</p>
